# わっかない 市議会だより

WAKKANAI CITY

平成15年2月1日
第102号
●発行 稚内市議会
●編集 編集委員会
●電話 23-6161番(代表) 内線281

（写真提供：門間喜一郎さん）

## 二〇〇三年 年頭所感

稚内市議会議長 河合 慎一

平成十五年の初春をむかえ、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市議会の活動に対し、深いご理解と力強いご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

地方自治に携わる私ども市議会は、低迷する内外の諸情勢を見極め、対応を誤ることのないよう広範で長期的視野を養い、高齢者が豊かな知識・経験をもって多様な働き方ができるような社会の実現に向けて、さらに、将来を担う人間性豊かな世代を育て、活力ある社会を築くことができるように努力してまいります。

本年も引き続きご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

## 議会日誌

**11月**

6日 各会派代表者会議・総務常任委員会
7日 民生文教常任委員会・北広島市議会議員来局
8日 建設産業常任委員会
26日 鳥栖市議会議員来局
28日 建設産業常任委員会

**12月**

2日 民生文教常任委員会・議会運営委員会
6日 第7回定例会（本会議）・議会運営委員会
12日 本会議（一般質問・ナイター）・議会運営委員会
16日 議案特別委員会・本会議・議会運営委員会
17日 議案特別委員会・本会議・議会運営委員会
25日 議会運営委員会
31日 各会派代表者会議

**1月**

16日 各会派代表者会議
21日 議会だより編集委員会

# ・・・12月定例会 一般質問から・・・

各会派から7人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

## 日本共産党 斉藤信義議員

### 宗谷畜産開発公社について

**質問** 市長は畜産開発公社の存続を決定したが、①経営コンサルタントの診断による黒字根拠が曖昧で、収支もBSE問題に関係なく計画どおりにいかなかったのでは。②公社の公共性・公益性についての見解は。③この事業に対する国・道の責任は。④公社を閉鎖した場合の問題点は。

**答弁** ①現在、公社の経営計画は経営コンサルタントの助言を受け係数管理等も精度が高くなってきている。また、13年度も元利金を除外した現金収支だけみると黒字であり、今年も計画達成はできると思っている。②年商約6億円の販売額は市内農業総生産額の1割を占め、農協の取り扱いも大きいことや、地域ブランド形成への指導的役割も果たしていることから、公益性及び存在価値を有益と判断している。③公社の存続には国・道の支援も必要であり、今後も粘り強く要請していきたい。④公社を閉鎖した場合、本市が損失補償している約24億円の返済責任を負う。また、職員の雇用、取引関係等への経済的影響の緩和措置も考慮しなければならない。今回、各金融機関や関係団体の支援を受け経営改善の見通しがたったが、計画の達成状況と実績を議会に報告し取り組みを行っていく。

### 市立病院内の特殊学級について

**質問** 義務教育を受ける子供たちが入院を余儀なくされ、教育が受けられない状況は避けなければならない。現状では札幌・旭川・北見・帯広・苫小牧に病弱・身体虚弱特殊学級として、14校あり、市立病院でも院内学級の設置が必要であると考えるが。

**答弁** 院内学級は、一般の特殊学級と同じ事務手続きで開設できるが、就学指導委員会では該当者なしとのことである。しかし、潜在的に存在していると認識しており、今後、保護者及び学校側から院内学級の開設要望があった場合、病院側と協議していきたい。・団体との連携による事務所活動・情報の発信など検討していかなければならないと考えている。

## 政友会 石塚公次議員

### サハリン事務所について

**質問** 本年5月にサハリン大陸棚地下資源開発プロジェクトの進展を見据え、サハリン事務所を開設したが、①開設後の活動や収集した情報などが市民や関係団体に明らかにされていないのでは。②事務所には専門分野を担当する市職員とあわせ、民間の経済団体や企業の職員も配置することを検討すべきでは。

**答弁** ①事務所開設以来、地下資源開発プロジェクトの関連情報や水産問題、インフラ整備などの情報を収集し、関係団体や企業に提供してきている。また、来春までに友好都市の情報や職員の体験リポートなどサハリン関係のホームページを構築していきたい。②今後、サハリンの多様化する各種ニーズに対応するため、各分野から人選した職員の派遣や民間企業

### IT講習について

**質問** 情報通信技術の進歩により、世界各国の情報をインターネットを通してリアルタイムで受けることができる時代になったが、①13年度・14年度のIT講習会の実績は。②地域の情報化に対応する市民サポートについての取り組みは。

**答弁** ①平成12年に当時の自治省の情報通信技術講習推進特例交付金が創設され、IT講習を実施してきた。実績としては、13年度で51講座1,333名、14年度で28講座514名が受講されている。②今後、市民の要望等を取り入れながら、15年度以降は市民講座として継続していく。また、市民からのITに関する問い合わせに対応できる人材育成と公共施設の有効活用を図り、IT基礎技能習得をサポートしていきたい。

## 市政クラブ 三宮正人議員

### 行財政改革について

**質問** ①補助金の見直し・削減を効率的に進めるための課題について。②補助金見直しの進捗状況によっては第三者機関を用いることも必要では。③

## 市民クラブ　中井　淳之助　議員

### 大沼と宗谷ふれあい公園の利用促進策について

**質問**　現在、大沼にバードハウスが設置され、春・秋の白鳥の飛来シーズンは有力な集客資源となっているが、その時期以外ではほとんど活用がなく、その点でも宗谷ふれあい公園との連携を視野に入れる必要があると思われるが、①ふれあい公園の展望台と大沼野鳥館を結ぶ遊歩道の整備が必要では。②南極ハイランド・犬ぞり大会等の冬期イベントをふれあい公園で実施できないか。

**答弁**　①当時、遊歩道の整備を北海道と協議したが、用地交渉が整わず中断されている。今後の交渉の経過もあるが、両施設がより利用者に喜ばれる施設にしたいと考えている。②ふれあい公園での冬期イベントの実施は、市街地に近いことや施設の整った場所での開催がベストだと理解しており、北海道も前向きに検討している。

### 市町村合併について

**質問**　政府は現行3,200余りの地方自治体を1,000程度に減らすとした閣議決定を行っている。ただし、合併特例法を受けるには平成17年3月末までの合併が条件付けられているが、①庁内検討の結果や近隣町村との検討・協議はどこまで進んでいるのか。②市民にメリット・デメリットを示さなければ具体的な議論ができないのでは。今後、市民の意見集約に向けたスケジュールは。

**答弁**　①現時点では合併問題委員会・合併問題プロジェクトチームで検討しており、同チームを「総務・財政」、「保健・福祉サービス」、「建設・経済」、「教育」の部会に分け調査研究を行っている。また、8月に猿払村・豊富町と「宗谷北部市町村合併問題研究会」を設立し調査研究を進めている。②各部会の報告を年内に取りまとめ、市民に情報提供し年度内にその意向把握も行った後、合併の是非についての結論を出したい。

## 民主クラブ　松本　勝利　議員

### 市立稚内病院診療科目の増設について

**質問**　近年、全国的に不登校、家庭内暴力、ストレス、うつ傾向等の精神病や心の病で苦しむ人が増えてきていることから心療内科を開設する考えは。

**答弁**　質問の疾患は、社会的なストレス要因の増加に伴い、近年、増加傾向にある。これら疾患に対する医学的専門領域は、精神神経科であり、4名の医師を配し、関係機関や関係診療科と連携しながら、積極的に診療しているところである。なお、心療内科については、道内3医大においても標榜しておらず、専門医もいない状況である。当院では現状で配置する事は困難であり、今後とも、なお一層関係各診療科とも連携を密にしながら、対応していく。

### 保育所の運営について

**質問**　共稼ぎなどにより保育所のニーズは高まってきており、今後は定員増加も視野に入れた運営も考える必要があるが、①現状の公設保育所を幼稚園と保育所の経営を一緒にする幼保一元化を行い、民営化を進めていくべきでは。②保育の緊急的な課題として保育時間延長も必要でないか。

**答弁**　①本市でも南・東地区の保育所では毎年多くの待機児童がでている。幼保一元化については、首相の諮問機関である地方分権改革推進会議で一層の推進と報告されていることから、担当課に幼稚園の参入に向けての具体的な支援方法の検討を指示している。②現状では、午前8時から午後6時までの10時間保育を実施しているが、保育時間の延長も強く要望があるため、15年度からは午前7時から午後7時までの12時間保育に延長して実施していく。

### 廃校舎の後利用について

**質問**　市内の廃校になった小学校などの校舎を地域に密着した活用を図るべきロープウェイ老朽化やスキー場のナイター中止なども考慮し、稚内公園全体の利用方法の見直しが必要では。

**答弁**　①今後の課題としては、何より補助団体の理解が必要と思っている。厳しい財源状況だが、団体自身も自己財源の確保に努めてもらいたい。また、補助対象経費の設定を厳格にするなど見直しを進めていきたい。②第三者機関については、見直しの方向が整理された段階で設置したいと考えている。③ロープウェイはスキー場への唯一の交通手段だが、老朽化が進み、今後の大幅な集客も見込めないことからスキー場の閉鎖等もあわせて、総合的に検討していく。

である。例えば、旧更喜苫内小学校の後利用として農業体験学習施設として活用した時、土に触れ農作物を育てることから得る物はたくさんあると思うし、他の教育分野でも様々な効果が考えられることから、廃校の有効利用の一環として進めるべきではないか。

**答弁** 天北地区廃校校舎の跡利用について、市として先に一定の方向を示したところであるが、旧更喜苫内小学校については、現在、具体的な活用方法について検討の段階であり、提案の校舎及びグランドの活用については、天北地区の上声問小学校の活用策である「自然体験施設の活用」と重なる部分もある。この部分を検証しながら、地元町内会や通学区域の潮見小、潮見中、PTA、地域まちづくり委員会と共にその活用について十分に協議し児童生徒の教育活動の場を広げ地域の活性化に繋がるよう検討していく。

## 市民改革ネット　東方豊松議員

### 市政運営と各種諮問委員の選任について

**質問** 各種委員は1,000人以上の市民が選ばれているが、同じ市民が4、5件の重複や再任期間が10、15年を超え長期化や高齢化の状態にある。透明で風通しの良い行政運営のためには、改善が必要ではないか。また、市議会議員と各種審議会委員と併任することの弊害については。

**答弁** 本市において、委員の選任は条例で定め人選しているが、現状は、高齢化や同じような顔ぶれ、長期にわたる在任などもある。活性化と効率化を図る観点からも整理が必要と考えている。市議会議員の各附属機関委員の選任は法で規定されている以外の機関については見直しをしていく。

### 男女共同参画を生かした社会、男女共同参画プランづくりについて

**質問** 市長の言う市民が主役のまちづくりを考える時、男女共同参画プランを積極的に導入すべきだが、取り組み状況は。

**答弁** 市の様々な審議会等では委員の公募制度を取り入れ、その結果、多くの女性委員の方々が参画されている。しかし、人々の意識や社会の慣習の中には、依然として、男女の役割に対する固定的な考え方に基づくものが残っており、このことがやもすると女性や男性の多様な生き方の選択を狭めているなど、取り組むべき課題は、依然として多く残されている。これからも、女性団体の自主性を尊重し、市民と行政のパートナーシップにより、男女共同参画プランの策定に向けて、取り組みを進めていく。

## 公明党　鈴木茂行議員

### 福祉施策について（リバース・モーゲージ）

**質問** リバース・モーゲージ制度は、高齢者が一定条件を満たし希望する者へ不動産を担保に生活費を貸し付け、後に不動産を売って清算するものだが、導入に向けての研究状況と見通しについては。

**答弁** この制度については、大都市圏では条例化し実施しているが、道内の自治体では、ない状況にある。本市も先進市の条例等を研究したが、昨今の経済情勢を見ると、担保となる不動産が目減りしており、将来の償還に不安要素があるため、実施するのは極めて困難な状況にある。ただ、国は将来の超高齢社会に対応した仕組みとして、検討しており概要を定めた要綱を策定予定であり、その動向を見極めた上で検討していく。

### 若者が魅力を感じ定着できるまちづくりについて（シネマコンプレックスの建設）

**質問** 地元紙にシネコン建設構想の代表者と市長が懇談したという記事が載っていたが、その内容は。また、北地区の再開発や市街地総合再生ビジョン計画の中で、サハリン館等との複合施設としてシネコンを建設できるよう計画策定すべきでは。

**答弁** 懇談は、最近の映画環境は随分変わり、観客も増加傾向にあることを考えると、稚内市や周辺町村の人口からも十分シネコンの運営が可能であり、このような施設ができるのであれば、映画の配給や映画館の運営について協力したいとの内容である。また、シネコン建設計画については、現在、中央地区を中心として進めている稚内市市街地総合再生ビジョン策定事業で検討している。サハリン館機能を含めた建設については、稚内港地区シーグランド計画の施設配置や、中央地区の商業者で検討されているアミューズメント複合施設との関係から、慎重な検討を要すると考えている。

# …議案特別委員会から…

## 【補正予算】

〈こまどり病院に関して〉

- 採用職員に対する開院準備の研修や職員からの意見聴取をどのように進めているか
- 研修は自主的参加でなく、全員を対象に実施をするべきではないか
- 3月の移譲後に行う準備研修で十分なのか。開院時期や外来診療だけを遅らせることはできないか
- 看護師と看護補助者との関係や引継ぎも心配があるし、市の配置職員の人選も早期に行うべきでないか

〈宗谷畜産開発公社に関して〉

- 今後経営が悪化した場合にどのようなことが考えられるか、国や道の責任はどうなのか
- 14年度は黒字を目標としているが実態が乖離するときは廃止することも視野に入れるべきではないか
- 財政支援を5年間するということに至った経緯は
- 委託業者との関係や身内的な経営を行っている等で市民に疑念を持たれていないのか
- 財政支援後も元利の償還が少なく単に銀行に金利を払うだけでは存続させる意味がないのではないか
- 廃止する際の債務返還の年次計画を考えているか
- 存続して黒字になるような何らかの方策があるのか
- 現状からは新たな収益をあげる事業や好転する材料がないことを市民に説明してはどうか
- コンサルタントの経営診断は現状の数字を明らかにするだけであって、経営には専門家が必要でないか
- 外部監査導入や民間のチェック制度、さらには経営陣に民間の能力ある人材を登用する等の方法はどうか
- 将来的に事業廃止するまでには資産価値を上げる方策を講ずるべきではないか
- 公社に観光施策の一端を担わせるなら別だが、一自治体が外国と競うような畜産事業はやめるべきでないか

〈中小企業振興助成に関して〉

- 対象となった二件の研究事業の今後の販路や支援策は、さらに成果の検証をどのように行うのか
- ほたてのウロからカドミウムを除去する研究は既に研究成果がでている中で、今回新たに助成するのは補助の目的からみてどうなのか
- 過去のウロ処理の研究成果をどのように活かすのか、また残余水分や分離したカドミウム・残留物の処理をどのようにするのか
- ウロ処理過程で生じる飼肥料の販路確保の見通しは
- 研究後の成果等の報告が必要、また資金面で研究が頓挫する恐れがあるのでもっと費用をかけるべきと思うがどう考えるか

〈職員給与に関して〉

- 3月手当てから4月にさかのぼって差し引く金額の総額は
- 財政が厳しい状況で少額な補助金等でも精査減額しているのに、今回給与条例の改正案を提案していながら減額の予算措置をしていないのはおかしいのではないか

## 【条例】

〈稚内市職員給与条例の一部を改正する条例〉

- 3月手当て基準日以前に退職した者の調整はできるのか、さらに中途採用者の場合も同じ方法をとるのかどうかの説明を
- 3月手当て基準日に在職している職員は差し引きの調整ができるが、既に退職している職員はできないとしているのは不公平でないか
- 四月にさかのぼって減額することは法律の不遡及理論に反すると考えていないのか

〈稚内市障害者等サービス事業条例の一部を改正する条例〉

- 受給者証の発行の申請から通知までの処理期間は
- 聞き取り調査方法・実施人数は
- 国の支給基準が3月に変わるが、市の基準額案はいくらになるのか
- 在宅サービスの現状把握をどのようにしているか
- 支援費制度へ移行になるが、その周知方法をどのようにするのか
- 事業者は措置費と比べて大幅に収入減になり、一層人件費を減らさなければならなくなって、結果廃業の恐れも危惧されるが、市としての状況を考えた対応が必要と思うが
- 支援費制度は小規模から大規模事業者への転換を進めるような制度に見えるが、小規模事業者が残れるような市の補助も必要ではないか

## 採択された請願及び要望意見書

- パート労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件整備及び均等待遇を求める請願及び要望意見書
- 季節労働者の雇用と生活安定を求める請願及び要望意見書
- 基礎年金の国庫負担割合を3分の1から2分の1へと早急に引き上げを求める請願及び要望意見書
- ILO第175号及びILO第111号条約の早期批准を求める請願及び要望意見書
- 中央被災地区の活性化についての要望書

## 休刊のお知らせ

5月の市議会だよりは、休刊させて頂きます。

次回は8月発行の予定です。

なお、写真募集についても8月発行分まで休止いたします。

## 議会のホームページをみましたか?

アドレスは
http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/gikai/
ぜひご覧下さい。

＊ホームページに関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局にお聞かせ下さい。

## 本会議と各委員会の出欠状況

| 区分／議員名 | 出席すべき日数（本会議・各委員会） | 出席日数 | 欠席日数 | 区分／議員名 | 出席すべき日数（本会議・各委員会） | 出席日数 | 欠席日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 石塚　公次 | 9 | 9 | | 中井淳之助 | 14 | 14 | |
| 岡本　雄輔 | 14 | 14 | | 藤谷　良幸 | 9 | 9 | |
| 小林侃四郎 | 8 | 8 | | 山田　繁春 | 8 | 8 | |
| 田森　和文 | 14 | 14 | | 生田目幸男 | 7 | 7 | |
| 河合　慎一 | 10 | 10 | | 長谷川喜市 | 9 | 9 | |
| 河野　至緒 | 9 | 9 | | 松本　勝利 | 14 | 14 | |
| 菅原　清治 | 8 | 8 | | 斉藤　信義 | 9 | 9 | |
| 竹村　海一 | 9 | 7 | 2（私） | 三谷　典子 | 14 | 5 | 9（病） |
| 三宮　正人 | 13 | 13 | | 魚住　光信 | 14 | 14 | |
| 越後谷亮一 | 13 | 13 | | 東方　豊松 | 13 | 13 | |
| 鈴木　茂行 | 9 | 9 | | | | | |
| 館農　恒一 | 14 | 14 | | | | | |

注：(1)出席すべき日数は、11月1日から1月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

## 3月定例会の日程

2月28日
○本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
○予算特別委員会
3月1～4日
○休会
5～6日
○本会議（ナイター）
・代表・一般質問
7日
○議案特別委員会
8～9日
○休会
10日
○議案特別委員会
11日
○本会議

本会議は5階議場で、各特別委員会は5階正庁の間で開きます。

## 前田修悦議員逝く

平成3年に市議会議員として初当選して以来、本市の発展のために尽力されてきました前田修悦議員（61歳）が12月30日ご逝去されました。

前田修悦議員は産業経済常任委員会、介護保険準備特別委員会、議会運営委員会などの委員長を歴任し、平成14年3月から、総務常任委員会委員長の職務を遂行されておりました。

ここに故人のご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

12月定例議会では、ナイター本会議で、横田市長に対する一般行政、市政について会派代表質問が行われました。

又、FMわっぴー実況放送も行われ、市民皆様多数、市議会に関心をもっていただく努力、工夫しているところであります。

特に今定例会では、国が市町村合併特例法に関連して自分たちの「マチ」が将来どうあるべきか、まちづくりの姿、市町村合併についての一般質問が多く、答弁の中で、地域住民との対話、情報公開等の課題と活動は論議が重要視されるべきとの質疑が行われました。

今後、市議会だよりの編集においても、市民に親しまれる企画、公募による表紙写真募集など市民皆様へのサービス編集に努力してまいりますので参画協力方お願い申し上げる次第です。

編集委員会